

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

事業名 校舎等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育財務課施設係 電話番号：058-272-1111(内3561)

E-mail：c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,018 千円 (前年度予算額： 68,971 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|--------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 68,971 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 63,000 | 5,971 |
| 要求額 | 9,018 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,000 | 18 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

<自家発電整備>

・特別支援学校では多様な障がいに対応 (総合化) するため、災害時に備えて自家発電を整備する。

(2) 事業内容

<自家発電整備>

・非常災害時に特別支援学校の医療的ケア関係機器に電力を供給するため非常電源を整備する。(中濃特別支援学校)

(3) 県負担・補助率の考え方

<敷地測量>

- ・県10/10 (県立高等学校の整備に要する費用のため県負担とする。)

<自家発電整備>

- ・県10/10 (県立特別支援学校の整備に要する費用のため県負担とする。)

(4) 類似事業の有無

- ・敷地測量・土地整理 無
- ・自家発電整備 無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|-------|---------|
| 工事請負費 | 9,000 | 非常用電源設備 |
| 事務費 | 18 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | 9,018 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 第3次岐阜県教育ビジョン
- 基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり
- 目標25 学校施設の整備の充実

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県立学校の施設や設備の整備により、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる学習生活環境を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R1) | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 (R4) | R2年度 |
|----------------|---------------|------------|------------|-------------|--------------|------|
| | | | | | | 達成率 |
| 自家発電設備 設置校数 | 0 | 6 (21%) | 7 (62%) | 1 (100%) | 14 (100%) | 43% |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|---|
| 令和 2 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ・特別支援学校6校（大垣特別支援学校、揖斐特別支援学校、関特別支援学校、東濃特別支援学校、飛騨特別支援学校、飛騨特別支援学校（日坂分校））の自家発電設備を整備を実施した。 |
| 令和 3 年度 | <p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |
| 令和 4 年度 | <p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない | |
| (評価) 3 | 県立学校で学ぶ児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を提供するために、学校施設や設備の整備に関連する工事等は必須の事業である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 学校施設や設備の整備に関する工事等を実施することで、県立学校で学ぶ児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を提供している。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている | |
| (評価) 2 | 整備の緊急性や必要性等を総合的に判断し、整備箇所の優先順位を付けたうえで効率的に整備している。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 学校の施設は、経年により劣化が進行し整備を必要とする箇所が年々増かするため、予算の確保が懸念される。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 整備の緊急性や必要性等を総合的に判断し、整備箇所の優先順位を付けたうえで、効率的な整備を図る。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|---|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | — |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | — |